

令和4年度第2回教育研究評議会議事録

日 時 令和4年5月18日(水) 14:30～17:01
場 所 事務局5階大会議室、S-P o r t 3階会議室
出席者 日詰、塩尻、川田、森田、大場、川村、片田、池田、高倉、金原、本橋
近藤、田島、桐谷、熊倉、村山、笹原、小西、田中、山本、喜多、木村元
彦、鳥山、加藤、江口、猪川、原、木村雅和、間瀬、坂本の各評議員
欠席者
陪席者 鈴木、河島の各監事、井柳、栗井、下村の各学長補佐

I 前回議事録の承認について

令和4年度第1回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 静岡大学の将来構想について (資料1)

議長から、静岡大学の将来構想について、資料1-1により、令和4年4月21日～5月18日までの会議等の開催状況、資料1-2により、第41回静岡大学・浜松医科大学連携協議会(令和4年4月27日)、席上配布資料により医工連携教育研究センター(仮称)の名称決定について報告があった。

<議長の説明等>

- ・静岡大学・浜松医科大学連携協議会委員名簿について
浜松医科大学2号委員に河本雅弘理事(財務担当)／事務局長の就任が報告された。
- ・令和4年度連携協議会・専門委員会・WG・SWG委員名簿について紹介があった。
- ・第38回法人運営専門委員会において国立大学改革強化推進補助金の評価結果、所見の内容について重要であると確認されたとの報告があった。
 - ・法人本部設置場所候補地について、静岡駅前、浜松駅前については効率化、法人機能の円滑な発揮という観点からは難しいのではないかという意見が出されたとの報告があった。
 - ・事務体制の検討について、静岡大学側で統合・再編の方針が明確になれば検討が進めやすくなるのではないかという意見があり、それを踏まえ両学長で懇談を行い方向性の検討を行ってほしいという意見が出されたとの報告があった。
 - ・席上配布資料により浜松医科大学の医工連携教育研究センター(仮称)の正式名称が次世代創造医工情報教育センターとなり本年4月から開始されたこと、その設立目的、非常勤講師として本学情報学部教員3名に数理・データサイエンスの授業等で協力いただく予定であるとの報告があった。
 - ・本学の新学部活用を含めたこれからの取組構想とそれに対する意見について報告があった。
 - ・法人統合・大学再編に関する議論が先に進められない現状に対して、両大学長が意見交換を行って方向性を示すことが必要であり、今後意見交換を行っていく予定であるとの報告があった。

2 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について

金原委員から、資料2により、第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書に関する提出スケジュール等について説明があり、改めてメールにより確認依頼を行うため、意見、修正等があれば、6月2日を目途に指摘いただきたいとの発言があった。

また、議長から、本件は次回の本会議で議論し、6月30日までに文部科学省に提出する予定であるとの発言があった。

3 第3期中期目標期間の教育研究評価に係る中期目標の達成状況報告書について

金原委員から、資料3により、第3期中期目標期間の教育研究評価に係る中期目標の達成状況報告書に関する提出スケジュール等について説明があり、改めてメールにより確認依頼を行うため、意見、修正等があれば、6月2日を目途に指摘いただきたいとの発言があった。

また、議長から、本件は次回の本会議で議論し、6月30日までに大学改革支援・学位授与機構に提出する予定であるとの発言があった。

4 国立大学法人静岡大学学則及び関係規則等の一部改正について

(未来創成本部関係)

森田委員から、資料4により、国立大学法人静岡大学学則及び関係規則等の一部改正について(未来創成本部関係)について提案があり、審議の結果、これを了承した。

<委員から出された意見等>

- ・ 笹原委員から、内容に異議はないが国立大学法人静岡大学学則の一部を改正する規則(案)第9条の10 本学に、中期目標・中期計画の取組を支援し、大学改革の推進を図るため、未来創成本部を置く。という条文について、学内に置くものに対し「支援し」という文言について違和感があるとの発言があった。これに対し森田委員から文言を検討するとの回答があり、続けて議長から本件については執行部へ一任いただきたいとの発言があった。
- ・ 近藤委員から、融合・グローバル領域所属となるということだが、人件費ポイントが領域に加算されると考えてよいのかという発言があった。これに対し、森田委員から事業実施期間中についてはその事業費の中で扱い、ポイント化はされないとの回答があった。

5 国立大学法人静岡大学経営協議会学外委員について

議長から、国立大学法人静岡大学経営協議会学外委員1名の辞任に伴う、後任の学外委員候補者について、資料5により提示があり、意見を聴取したが、特段の意見はなく承認した。

6 学生の懲戒について

池田委員から、学生の懲戒処分案（5件）について、別添資料により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、再発防止策として委員からレポート不正防止のためのシステムの導入についての検討、今年度早急に各学部学科の必修科目授業の中で、すべての学生がレポート作成方法含めて不正行為に関して理解するような指導を徹底していただくよう全学教務委員会から指示を出していきたい等の要望、発言があった。また、鈴木監事から大量の事案が発生したことについて大変憂慮しており、監事としても点検していかねばならないと考えているとの発言があった。

最後に議長より本日の提案、意見を参考にしつつ、引き続き多様な角度から検討を進める必要があると考えている。今後、不正行為が減るよう委員の協力をお願いしたいとの要請があった。

III 報告事項

1 令和4年度第2回企画戦略会議（令和4年5月9日）報告

議長から、令和4年度第2回企画戦略会議（令和4年5月9日）報告について、資料6により報告があった。

2 令和3年度部局間交流協定について

近藤委員から、令和3年度部局間交流協定について、資料7により報告があった。

3 教員採用等報告について

議長から、教員の採用2件について、資料8により報告があった。

4 令和4年春の叙勲について

議長から、令和4年春の叙勲について、資料9により名誉教授3名の受章の報告があった。

5 令和3年度ジェンダード・イノベーション研究支援事業成果報告会の開催について

本橋委員から、令和3年度ジェンダード・イノベーション研究支援事業成果報告会の開催について、資料10により報告があった。また、各部局へ当報告会への参加協力について依頼があった。

6 プロジェクト研究所の設置について

川田委員から、プロジェクト研究所の設置について、資料11により報告があった。

7 半期15週16回授業の実施方針について

塩尻委員から、半期15週16回授業の実施方針について、資料12により報告があった。

- 8 令和4年4月入学大学院入学試験実施状況について
塩尻委員から、令和4年4月入学大学院入学試験実施状況について、資料13により報告があった。
- 9 令和4年度静岡大学入試状況について
塩尻委員から、令和4年度静岡大学入試状況について、資料14により報告があった。
- 10 グリーン科学技術研究所ニュースレターVol.11の発行について
間瀬委員から、グリーン科学技術研究所ニュースレターVol.11の発行について、資料15により報告があった。また、グリーンサイエンスカフェの再開に伴い、取組の周知についての協力依頼及び8月31日に開催される共同研究推進の取組のひとつである静岡県内5大学による連携シンポジウムについての協力依頼があった。
- 11 学生の除籍について
鳥山委員から、学生の除籍について経緯の報告があった。

以上